

南阿蘇村 女性消防団 だより

Vol.6



女性 消防団 募集中

私たち女性分団18人は、男性消防団と同じようにそれぞれ仕事をもち、また、ほとんどの団員が子育て真っ盛りです。仕事、家庭と両立するなかでの消防団活動ですが、団員お互い協力し合いながら無理のない範囲で活動しています。この「女性分団だより」も活動の一つとして、村の消防団活動の様子や生活に役立つ情報を皆さまに発信していきたいと思ひ掲載しています。私たちと一緒に消防団活動をしてみませんか？いつでも大歓迎です！

気温差が激しい日々が続くコロナ禍、皆さま安全にお過ごしでしょうか。

今年で女性消防団は、創設10周年を迎えました。女性消防団活動とは何か、全く分からずに手探りで始め、他市町村の活動を参考に団員一丸となってさまざまな活動に取り組みが付けば10年。ようやく消防団として安定してきたのではないかと思います。

ですが、女性の視点を生かした活動においてさまざまな課題に気が付くけれども、実際にそれを解決しようとする、仕事や家庭との両立に苛まれることもしばしばです。楽しく消防団を続けるため、団員お互いが「出れる時だけ出る」をモットーに日々活動してきました。

去年からコロナ禍により活動が必要最低限となっておりますが、今まで活動してきたことを糧に今後も皆さまの安心・安全のために尽力いたします。

女性消防団の主な活動



暴雨災害を想定した村の訓練では、本部の連絡係として参加します。



春、秋、年末警戒の広報活動。かわいい広報車で参加しています。



1月の出初式、6月の入退団式に出場し通常点検や式典の手伝いをしています。



震災などがあり、8年前になりますが操法大会に出場しました。南部分署、消防本部に指導いただき一致団結して大会に挑みました。



立野地区の災害ボランティア参加。猛暑の中30分毎の休憩を取りながら瓦礫の片づけをしました。



消防署でAEDの取扱訓練。新入団員消防学校訓練に参加しました。

簡易防災頭巾の作り方

材料

(頭巾)
バスタオル 1枚、フェイスタオル 3枚程度、針と糸
(中に入れるもの(自由))
マスク、軍手、ティッシュ、下着など...

作り方

- ①、バスタオルの裏を上にして横に広げる
- ②、①の上半分にフェイスタオルを2~3枚重ね、後で外しやすいように、大きな縫い目で縫う
- ③、②の上にて下着を大きな縫い目で縫い付ける。この上にさらにタオルを重ねてもOK
- ④、バスタオルの下半分を折って二つ折りの状態にする
- ⑤、大きな縫い目で縫い合わせる
- ⑥、「あご」で結べるように、紐または、スナップボタンを付ける

他にも下記のような物を入れて自分用にアレンジできます

バスタオル、小タオル、ゴミ袋、紙おむつ、パンツ、くつ下、ストッキング、軍手、下着、使い捨てカイロ、絆創膏、小銭、お札、笛、小型ナイフ、常備薬、通帳番号控え、しつけ糸、綿テープ、マスク、軍手、ティッシュなど

熊本地震からあつという間に5年が経ちました。しかし、毎年日本各地のどこかで自然災害が起きています。自分や大切な人の命を守るのはあなた自身です。日ごろの備えが身近な人の大切な命を守ります。日頃から災害に対する備えをしっかりとしておきましょう。



女性消防団活性化セミナーで簡易防災頭巾の作り方を発表しました。また、地域への公演も取り組んでいます。